保護者用：サポートシート

学ぼう！家電リサイクル　№21

★保護者の方と一緒に、家電リサイクルについてインターネットサイトなどを検索し答を導き出してください。
間違っていても問題はありませんが、一度家電リサイクル工場にお越しいただくことでより詳しく楽しく学んでいただくことができます。各地のリサイクルプラントは、当社ホームページのリサイクルプラントマップ（https://www.krsc.co.jp/system/recycling_law/）、または一般社団法人家電製品協会のホームページ（https://www.aeha.or.jp/action_of_recycling/plant/）にてご確認ください。

★進め方のポイント
KRSC での作業改善をクイズにしています。写真を見て回答を導き出してください。
どんなことをすれば作業が楽になるか、働く人の目線で考えることによって例にあげたものとは別の答えが出てくることがあるかもしれません。

◆下の写真は、エアコンや冷蔵庫で使われている冷媒フロンを、ボンベに回収します。ボンベは集めている間、重さをはかっています。なぜ、重さをはかっているのでしょうか。

・エアコンフロン回収

① 途中で誰かがボンベをさわったとき、すぐにわかるようにするため。
② まちがってボンベの上に道具を置きっぱなしにしていないか調べるため。
③ 空っぽのボンベの重さをはかり、回収した冷媒フロンがどれだけ入っているか調べるため。

ヒント：フロンが満タンになったボンベは、別の工場に送られて中身をリサイクルします。

答え（　　）

ヒント：ボンベの中身が 100%になると交換をします。どれだけ回収できたか管理しています。

◆下の写真は、逆さまにした状態でエアコンの中に入っているフロンガスを、上下にゆすって回収している様子です。ガタガタとゆすりながら回収しているのには理由があります。どんな理由があるのでしょうか。

① 少しでも多くのフロンガスを回収するためにゆすっている。
② 屋外に置かれている室外機に砂がいっぱいたまっているので、落とすためにゆすっている。
③ 「ガス、抜いてるよ」の合図

ヒント：フロンと機械油が一緒に入っているので途中で詰まってしまうことがあります。

答え（　　）

ヒント：古いエアコンは特に細い銅管の中で油が固まり、血栓のような詰りができることがあります。

◆古いエアコン室内機はネジの数も少なく解体しやすく、１人で１台を解体していたのですが、今は作業を分担して解体しています。それは何という作業でしょうか。正しいと思うものをカッコにかきましょう。

・昔の室内機解体

・今の室内機解体

① 連続解体作業
② 協力解体作業
③ 流れ解体作業

ヒント：コンベアが１方向に流れていき、その中で自分が担当する物を外していきます。

答え（　　）

ヒント：今の解体のスタイルは慣れるまでは大変ですが、たくさんの数を解体することができます。